

「学力向上」と「授業改善」について考える



令和5年度第2回管内指導主事連携協議会からの学び

【日田教育事務所】

◆要旨◆ 第2回日田管内指導主事連携協議会
(参加者:日田市・九重町・玖珠町教育委員会指導主事、日田教育事務所 計6名 R5.9.14実施)

協議題

「学力向上対策について」

- ・各種学力等調査結果を踏まえた見直し
- ・課題の明確化
- ・課題に対する取組



■読書の大切さ⇒あらためて実感！

- ・語彙の獲得の先にあるもの
⇒豊かな情操
⇒論理的思考



■子ども任せでは実現しない

・どの子どもにも良書を手に取らせる工夫

⇒まずは、**授業** 特に、

国語

社会

道徳

⇒次に、学校図書館活用による

日常的な読書活動

⇒可能であれば

「朝読書」(学校でも家庭でも)

協議白熱：どうする『自立した学習者』の育成！！

■「子どもの思考」を大切に「指導計画」？

- ・子ども自身が、「学習計画」を立てたり計画を見直したりする機会があるかな？
⇒子ども自身の学びのツールとしての「振り返り」が実現しているかな？



■改善に向けて

- ・「子ども軸からの単元構想」に沿った授業
- ・子どもの思考の状況を丁寧に見取る工夫
⇒「記録」の工夫、「振り返り」の見直し
- ・各種テスト後の取り組み方
⇒誤答のやり直しだけで終わらせない。
⇒「どう臨んだか？その結果は？
これからどうつなぐ？」
(※子ども自身が記述する)

■家庭学習の質と時間

- ・やられる家庭学習、少ない時間
⇒子どもたちは「学びに価値を見だしている」かな？
「キャリアにどうつながるかわかっている」かな？



■改善に向けて

- ・教師が宿題として提供する課題の精選
- ・宿題を一定期間出さない取組
- ・授業の予習、復習を単元の学習に位置付け
- ・「自学ノート」の在り方を見直す

- ◆「自立した学習者」育成に向けて大人が「何を」「どのように」手放すか。
- ◆学校、家庭、地域で真剣に考え、実行することが急務！

★全国学力調査問題の分析を、「単元構想」に活かす

★ICTの機能、アプリの機能を「単元構想」に活かす など